



発行/
建築許可(般-16)13000号
(財)住宅保証機構登録店
株式会社 **みのりホーム**
松山市福音寺町43-1
Tel 089-976-0047
[HP] <http://www.minori-group.com>
[E-mail] minori@minori-group.com

一級建築士事務所 第3021号
日本増改築産業協会 正会員
株式会社 **栗田工務店**
松山市中央1丁目22-23
Tel 089-924-1516
[HP] <http://www.kurita-komuten.com>
[E-mail] kurita39@ilac.ocn.ne.jp

みのりホーム・栗田工務店
社長 寺川 勲雄
ホームページ更新中
(みのりホーム) (栗田工務店)
と検索してください!

謹賀新年 あけましておめでとうございます

株式会社栗田工務店 会長 栗田孝和

昨年は政局同様、一大チェンジの時でした。新生(株)栗田工務店としてスタートしてようやく1年を迎えようとしています。お蔭様で皆様方良いお客様に恵まれて工事も順調に受注出来、業績も向上をきたしているところです。

本年も社員共に全員一丸となって気を引き締め困難な時代に対処し、お客様の喜びと満足を実現し地域社会に貢献し、地域になくなくてはならない工務店として存在続けられるよう頑張っています。

どうか本年も今まで以上のご支援をいただきたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。

株式会社みのり商会 株式会社みのりホーム
株式会社栗田工務店 有限会社やわらぎ 社長 寺川勲雄

お蔭様で、私達は創業31年目の年を迎える事が出来ました。地域の皆様には心よりお礼を申し上げます。私達は創業以来「心のふれあいを大切に」をモットーに地域の皆様に愛される企業を目指して参りました。そして「住まい」をキーワードに「みのり商会」「みのりホーム」「やわらぎ」「栗田工務店」の4つの会社が互いに支えあい、どんな不況の時も安定経営が続けられる「全天候型企業」を目指して参りました。それがとりもなおさず、お客様への責任を果たすことだと考えております。

今春には73区画の大型団地「エコとセキュリティのまちていれぎ」が完成し、新しいコミュニティ創造への提案を具体化させて頂きます。

昨年加盟した世界43カ国が加盟する「ERA」の活用を本格化して不動産・仲介・売買の迅速化に努めます。又、社会の変化に応じた不動産の有効活用の相談事業として「ソリューション事業」を開始いたしました。建築部門に於いては私達が長年追求してきた健康住宅の理想と言えるシックハウスと無縁な「無添加住宅」をお求め易い価格で提供出来る様その手法を開発中であり、弊社分譲地「中須賀」にモデルハウスを建築中です。

介護分野に於いては、昨年12月にオープンした新しい試み、小規模多機能、高齢者専用賃貸住宅、グループホームの3機能を併設した「久万の台やわらぎ」が既に多くの入居申し込みを頂き、見学希望者が後を絶ちません。今年も更に地域介護の在り方を追求してまいります。

今年も企業エゴに走る事なく、三方良しの精神で頑張りたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

皆様にとって今年が良い年でありませうお祈り申し上げます。

平成22年1月



みのりグループ 社員 ご挨拶



リフォーム事業担当兼
取締役統括部長 恩地一之

リフォーム事業中期計画の最終年度にあたり、スムーズな施工管理でお客様に満足して頂く事を目標にしています。



取締役
ホームアドバイザー 寺川信一

昨年はたくさんの方にお世話になり、勉強させていただきました。今年はどういう良い出会いがあるのか楽しみです。皆様により良い住まいを提供できるよう努力して参ります。



不動産部 部長 松長哲也

昨年加盟した国際ネットワーク「ERA」をテコに地域密着で住まいの総合サービスを提供させて頂きますのでお気軽にご来店下さい。



不動産ソリューション事業担当
谷本憲介

「ソリューション」とは「問題解決」することです。お客様の不動産・建築に関する問題を一緒に楽しく解決していきます。



無添加住宅担当
ホームアドバイザー 是澤輝和

今年はいよいよ「無添加住宅」のモデルハウスが完成します。一人でも多くのお客様にこの家の良さをお伝えできる様、全力で頑張ります。



栗田工務店 専務 住田羊子

今年はいよいよ以上にお客様の喜びと感動を与えられる仕事をしていきたいと思っております。従業員一同、心を合わせて頑張りますので宜しくお願い致します。



やわらぎ 常務 矢野 淳

利用者もスタッフも健康でいられる良い介護を目指して頑張ります。



やわらぎ 取締役クオリティ担当
田村富美子

地域社会の中で頼りにされるグループホームを目指し、利用者も私達も共にイキイクワクワク過ごせる様にします。

無添加住宅 ease モデルハウス建築中!

ビルトインガレージのあるホワイトモダンハウス

世界で一番自然に近い家「無添加住宅」のモデルハウスが3月オープンに向けて建築中です。

建築中でもご希望があれば随時ご案内させていただきます。

乞うご期待!



空気中の化学物質 6 最終回

認知され始めた過敏症

頭痛や疲労感、気管支炎、発熱、うつなどの精神症状……。化学物質過敏症(CS)とされる症状はさまざま。個人差が大きく原因物質の特定が難しいこともあって、病態や診断基準について医学界の統一の見解はない。

シックハウス症候群と混同されることも多いが、同症候群は屋内で起こる頭痛や粘膜刺激などの健康被害の総称。化学物質だけでなく、ダニやカビが原因のこともある。

過敏症は世界的にその存在の有無を含めて議論が繰り返され、認知する医師も増えてきた。日本では2004年に医師らによる厚生労働省の研究会が「医学的知見の整理」を示した。「過敏症」の呼び名が中

質過敏症支援センター(横浜市)に寄せられた相談は2007年、1453件に上った。

初めての相談者は「自分の体はどうなってしまったのか」と驚いていることが多い。相談員は「特効薬はない」と説明した上で、日常生活での対応の仕方や医療機関を案内している。

自宅や職場の新築・改築が発症のきっかけになったという人が、約3割を占める。たばこや合成洗剤、化粧品、整髪料、芳香剤などの身近な物に反応してしまう人も多く、周囲の人に理解を得られずに苦しんでいるという。

広田しのぶセンター理事は「今の社会生活で化学物質をゼロにはできない。ただ、代替品を使って身近な物から少しずつ減らすことはできる。家族や周囲の協力が何よりも大事だ」という。センターでは、化学物質の少ない製品を列挙した「食品・生活用品リスト」も作っている。

過敏症の人たちによる「CS和の会」(横浜市、cswanokai@yahoo.co.jp)は発症者の携帯カードを作った。事故時などに備え、病院内の建材や消毒で症状が出ることもあるなどと書かれている。



(平井良和)

朝日新聞 2008.12.13 掲載記事より

化学物質過敏症は?

- ①未解明のことが多い
- ②生活用品で苦しむことも
- ③家族や周囲の理解が大事

化学物質過敏症支援センターの相談窓口
電話 045-663-8545
(水、金の午前10時~午後0時半、同1時半~4時)
ファクス 045-222-0686
電子メール yokohama@cssc.jp

携帯カードの申し込み
〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2
かながわボランティアセンター 気付
「CS和の会」カード係
※1枚100円。枚数分の切手と返信用封筒を同封する。
The Asahi Shinbun

栗田工務店 Before→After

施工例 松山市 H様邸



施工前



施工後

広いリビングルーム

明るいキッチン



●お問合せは
栗田工務店 ☎ 0120-70-1516
担当:住田羊子



改築前、応接間が昼間でも薄暗い状態でした。今回の改築の目玉は隣接した和室をつないで大きなリビングを確保したこと。リビングの東側がダイニングキッチン。新リビングを中心に明るいご家庭の笑い声が聞こえてきそうです。

現場からのお便り

溝辺グループホーム

大きな建物はどうしても真ん中あたりが暗くなりがちですが、今回は大きな吹き抜けと窓を付けることで明るさと風を取り入れることができました。吹き抜けを取ると家の中に足場を作らないといけないので手間と費用がかかりますが、うまく間取りに取り入れればとても効果的です。



ビルトインガレージのある家 ~無添加住宅ease~(中須賀2丁目)

自然が一番近い家といわれる無添加住宅を建築中です。これまでの健康住宅をさらに追求した健康住宅・・・スーパー健康住宅!?

今度の家は、『無添加住宅ease』モデルハウスになります。来た人がビックリとめくデザインに仕上がる予定です。お楽しみに♪



ていれぎ探検記 18

わが家で、大三島の魯山人と言われる山折亮一さんの陶芸と最近シヨパンの芝居で天才的画家ドラクロア役を好演したボクの水彩画「二人展」を二日間開催した。



初日は、二人のイケメンの展示会を見ようと、朝11時開店なのに、早朝から乙女達で行列になった。11時に開店すると、ボク達二人はキス責め、昔乙女達は迷陶、迷画の争奪がはじまった。

一億、二億の迷陶、迷画が飛ぶように売れ、ボクがピンクで描いた薔薇の絵は落札者が殺到、しかたがないので、ピンクのパンツを履いた、花も咲かない枯れススキの乙女に落札してくださいと言ったら、「誰もピンクのパンツは履いてませんよ」と乙女達の抗議。ジャンケンで落札してもらった。

案内状には、陶器・水彩画は買わなくてよいから、お茶を飲みに来てくださと書いていたので、お茶の師匠に来ていただいて、お煎茶の接待をした。これが人気で、おちょこのような器でいただく、お茶がおいしかったと大好評である。

ごめんなさい

いつも見ていただいてありがとうございます。ティータイム通信はいつも同じ場所に折込されているわけではありません。ご希望の方には定期購読をおススメしていますので、

みのりホームまでご連絡ください。
電話 089-976-0047
FAX 089-976-0049
メール minori@minori-group.com
「ティータイム通信定期購読希望」とお伝えください。

